

そっとおとどけ 2020年6月号

《図書館のご利用について》

- ✓ マスクの着用・手洗い・消毒、また、咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- ✓ 発熱や咳・喉の痛み等の風邪の症状がある方、そのほか体調が優れない方は来館をお控えください。
- ✓ 館内での長時間滞在はできません。
返却・貸出手続きが終わりましたら速やかにお帰りください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、開館状況の変動や下記イベントの変更・中止をさせていただく場合がございます。

最新の情報は、お電話または図書館ホームページ・フェイスブックでご確認ください。

みなさまにより安心して図書館をご利用していただくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

《展示案内》

6/23(火)まで

一般展示

「Best of Books 2019」

児童展示

「教科書にのった本」

《新着 DVD》

新しい DVD が入りました！
※貸出中の視聴覚資料は予約ができます

「男はつらいよ」「るろうに剣心」

「雨に唄えば」「フォレスト・ガンプ」

「日本昔ばなし」vol.1~3 etc..

全 19 点



Facebook 図書館 HP

〒822-0034 直方市山部 301-11 ☎ 0949-25-2240

開館時間：火曜～土曜 10:00～19:00 / 日曜・祝日 10:00～17:00

URL：<http://www.yumenity.jp/library/library.html>

《直方市立図書館カレンダー・イベント情報》

6月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

6月

21日(日) 10:00～ おもちゃ病院 ※受付は13時まで▲



7月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

7月

- 11日(土) 14:00～ 映画上映(土曜シアター) ■
作品「アンナ・カレーニナ」114分
14:30～ おはなし会(赤ずきん) ●
- 14日(火) 11:00～ おはなし会 ※乳幼児向け(麦のこ) ●
- 19日(日) 10:00～ おもちゃ病院 ※受付は13時まで▲
14:00～ おはなし会(れろの会) ●
- 26日(日) 11:00～ おはなし会(図書館職員) ●

■は休館日、太字は17時閉館

○はイベントのある日です。

●図書館おはなしコーナー ▲図書館前ロビー ■ユメニティ小ホール

※イベントは変更・中止になる場合がございます。

今月のテーマ
かがみ
「鏡」

「だれでも作れる万華鏡」

照木公子:著 759テ

美しく幻想的な世界が楽しめる万華鏡。
本書は身近な材料を使って、初心者でも万華鏡が作れるように解説しています。
映像に合わせて、外観をレースやちりめん布で装飾すれば、オシャレ感もアップ!
紙風船など珍しい形の万華鏡もあり、思わず見入ってしまう1冊です。

(K)

「暮らしのヒント集」

暮らしの手帖編集部:著 590.4ク

美しく装った外見は、鏡に映した時確かに綺麗ですが、人の目に触れない部分がおそろかであると、人はがっかりするものです。見える所だけ美しくするのではなく、見えにくい場所こそ美しくして、それを大切にすることの輝きが表に出るものであると、改めて気づかされます。
大変な時こそ、ゆっくり丁寧に生きること、嬉しい発見がきくとあると思います。

(るー)

「鏡よ、鏡」

飛鳥井千砂:著 Fア

化粧品会社の新人美容部員として出会った莉南と英理子。性格も好みもまるで対照的なふたり。はじめは反発していたけど、正反対な考え方をする相手がお互いに大事な「親友」になっていく。女性同士の人付き合いの面倒な部分と繊細な部分がリアルに描かれているなどと思いました。言葉にしているのは、頭の中で考えていることのほんの一部だなど…。男性にも読んでいただきたい「女性」心裏が覗ける一冊。

(kn²)

「アリスの国の鏡 ルイス・キャロルの残した謎」

山本容子:著 933キ

この本では、銅版画家である著者が「反転」の思考を持って、『鏡の国のアリス』を読んだ時の著者なりの解答が書かれています。
内容の後半では、『鏡の国のアリス』内でのチェスの動きについての解説があるので、チェスが苦手な方でもわかりやすくなっています。
鏡やチェスによって、ルイス・キャロルの描く世界に興味を惹かれていく一冊です。

(京)

「鏡のなかの迷宮 1 水の女王」

カイ・マイヤー:著 K943マ

水の都ヴェネチア。「水の女王」に守られた、人魚が棲むこの街で、孤児の少女・メルレはたった一つの宝物である不思議な手鏡を片手に暮らしていた。ある時、魔法の鏡職人・アーチンボルトの元へ見習いに行くことになったメルレだったが、偶然にも貴族達の密会を目撃してしまう。手鏡の正体とは、一体「水の女王」とは何者なのか… その秘密はぜひ物語を覗きこんでみてつけて下さい。

(フクロウ)

「鏡の中のアンジェリカ」

フランチェスコ・コスタ:著 K943コ

十二歳の少年・ジャモコは、夏休みに別居中のパパと過ごすため、海辺の町にやってきた。ジャモコは誕生日をお祝いしてもらい、ケーキのろうそくを吹き消そうとしたとき、ふと鏡に目を向けると、なぜか鏡はジャモコの姿を映さず、同じ年ごろの女の子が映っていて、女の子は恐怖をうかべた目で見ていた。
少年の忘れられない夏になった不思議な出来事一。

(ダック)

毎月、司書がひとつのテーマにそった本を紹介します。
※ () は司書のペンネームです。